

内視鏡洗浄・消毒の手順(例)

[内視鏡の取り扱いについては、機械メーカーにお問い合わせください。]

個人防護具の着用

手袋、マスク、ガウンまたはエプロン+腕カバー、と防護用ゴーグルを着用します。

洗浄・消毒時は、感染および消毒剤の付着や吸入を避けるため、適切な個人防護具を着用します。



1. 患者より抜去直後

スコープを光源に接続したままガーゼなどで清拭しながらチャンネル内に酵素洗浄剤を200mL以上吸引し、同時に送気・送水を繰り返します。

スコープに付着した粘液、チャンネル内の粘液や血液を取り除き、送気・送水チャンネルに逆流した胃液を追い出します。



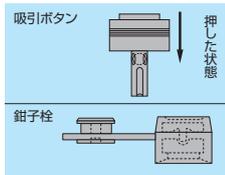
2. スコープ外側の手洗い洗浄

中性洗剤または酵素洗浄剤をスポンジにつけスコープの外側を洗浄します。先端部のレンズ面は柔らかいブラシで洗浄します。

送気・送水ボタン、吸引ボタン、鉗子栓を外して洗浄します。

吸引ボタンの横穴、複雑な鉗子栓の弁も忘れずに洗浄します。

流しで温水を流しながら洗浄します。



3. 吸引／生検チャンネルのブラッシング

吸引ボタン取り付け座から

①吸引口金まで

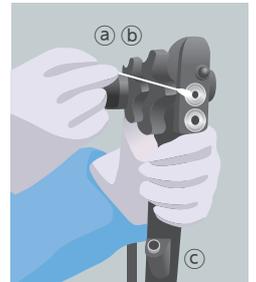
②鉗子出口まで

鉗子口よりチャンネルから

③鉗子チャンネル分岐部まで

チャンネル掃除用ブラシで2回以上ブラッシング(3方向)します。

内視鏡洗浄消毒装置を使用する場合もこの工程まで行った後に装着します。内視鏡洗浄消毒装置の取り扱い説明書に従ってご使用ください。



4. 酵素洗浄液への浸漬

アダプターを用いて全チャンネルに酵素洗浄剤を注入し、規定時間(2-5分間)浸漬します。

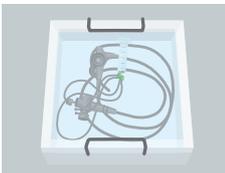


5. すすぎ

洗浄剤をすすぎ、チャンネル内に水の吸引注入を繰り返した後、アダプターを用いて水分を除去します。

6. 消毒

アダプターを用いて全チャンネルに高水準消毒剤*を注入し、換気のよい部屋でふた付き容器を用いて、高水準消毒剤*に規定時間浸漬します。



消毒剤の濃度低下に注意し、適宜交換して下さい。

7. すすぎ

消毒剤をすすぎ、チャンネル内に水の吸引注入を繰り返した後、アダプターを用いて水分を除去します。



乾燥・保管

消毒用エタノールを各チャンネルに通し乾燥後、送気・送水ボタン、吸引ボタン、鉗子栓を外して保管します。

1日の終わりに行います。

*高水準消毒剤の添付文書に従ってご使用ください。なお、規定時間は高水準消毒剤により異なります。

2%、3.5%グルタラル：30分間以上、3%グルタラル：15分以上、0.55%フタラル：5分間以上

参考資料

消化器内視鏡の感染制御に関するマルチソサエティ実践ガイド作成委員会(日本環境感染学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器内視鏡技師会)
：消化器内視鏡の感染制御に関するマルチソサエティ実践ガイド【改訂版】(2013年7月)

日本消化器内視鏡技師会 安全管理委員会：内視鏡の洗浄・消毒に関するガイドライン 第2版(2004年3月)